

# 会 告

## 第 48 回通常総会および第 17 回年次学術講演会

第 48 回通常総会および第 17 回年次学術講演会は次のとおり行なわれることになりました。

詳細のプログラムは例年のとおり会員には別途郵送いたします。

1. 通常総会：5月26日(土) 9.30～12.00 早稲田大学大隈小講堂
2. 総合講演：5月26日(土) 13.30～17.30 同

### 題目および講演者

- |                           |                               |             |
|---------------------------|-------------------------------|-------------|
| 1. 土木教育の現状(工業高校教育をふくむ)    | 京 都 大 学 教 授 工 博               | 石 原 藤 次 郎 氏 |
| 2. 海外における建設技術協力の現状と将来     | 国 際 建 設 技 術 協 会 理 事 長         | 柳 沢 米 吉 氏   |
| 3. 明日への土木建設業と土木建設技術者      | 鉄 道 建 設 興 業 K K 常 務 取 締 役 工 博 | 飯 吉 精 一 氏   |
| 4. 首都高速道路施工概況とその問題点       | 首 都 高 速 道 路 公 団 理 事 工 博       | 中 島 武 氏     |
| 5. 臨海工業地帯の土地造成について        | 東 亜 港 湾 工 業 K K 取 締 役 社 長 工 博 | 岡 部 三 郎 氏   |
| 6. 地下鉄とともに 10 年間(施工を主として) | 帝 都 高 速 度 交 通 営 団 理 事         | 水 谷 当 起 氏   |
| 7. 最近における基礎の諸問題           | 東 京 大 学 教 授 工 博               | 星 莖 和 氏     |
- 
3. 懇親パーティー：5月26日(土) 18.00～19.30 早稲田大学大隈会館
  4. 年次学術講演会：5月27日(日) 9.00～17.30 早稲田大学各教室
  5. 見 学 会：  
A 班 5月28日(月)29日(火)(1泊2日)箱根バイパス,早雲山一湖尻間ロープウェイ,国鉄新幹線丹那トンネル東口  
B 班 5月28日(月)(1日)首都高速道路工事現場,都営地下鉄工事現場,国立競技場諸施設の1部  
C 班 5月28日(月)(〃)東京港防潮堤工事現場,東京ガスKK豊州工場  
D 班 5月28日(月)(〃)千葉臨海工業地帯,辰巳団地,東京湾フェリー,東京電力KK横須賀火力発電所

## 37 年度論文集第 1 回予約募集について

論文集は今まで隔月(1,3,5,7,9,11の各月)に発行致しておりましたが,論文集の利用度の問題などについて種々検討の結果,37年度より毎月発行することになりました。

今まで論文集を予約されていた方で37年度も引き続き論文集を御希望の方,およびまだ予約されない方で希望者がありましたらこの機会にお申込み下さい。

論文集年間予約会費は 600 円(外国会員 U.S. \$3)とし,一回払いで前金を原則といたします。なお論文集予約の申込みは 4 月と 10 月の 2 回,会費は 1 カ年分前納を建前とし,途中から御申込みいただいても予約受付の時期までお持ち願っておりますので御了承下さい。37 年度第 1 回(4 月分)の予約申込締切は 4 月 20 日です。本号挿入の振替用紙がそのまま予約申込書になりますので御利用下さい。

なお,36 年 4 月にお申込みになられた方で,引き続き御希望の方は今回御申込みいただかないと送本できませんのでおれのないように御注意下さい。

### 37 年度論文集発行計画

- a) 発行回数：年 12 回(第 80 号より第 91 号まで)
- b) ページ数：1 回あたり平均 48 ページ(本文 40, 欧文要旨 8)程度とするが,多少の増減は予定する。
- c) 内 容：従来どおりとし部門別にわけない。ただし長い論文は 2 回に分けることもある。
- d) 体 裁：B 5 判 8 ポイント二段組 上質紙使用
- e) 特別購読：年間予約購読者以外で希望する論文をその号だけ特別に購読したい会員は 1 部あたり 150 円で頒布するが,年間予約が建前なので余部が生じない場合は頒布できないので悪しからず御了承願いたい。

## 第 7 回関東地区学生員諸君のための映画会

定例(毎月第 3 土曜日)による建設技術フィルム ライブラリーと共催の第 7 回関東地区学生諸君のための映画会を下記の通り開催いたしますから多数御来会下さい(入場無料)。

なお一般会員の御参加も歓迎いたします。

1. 開催日時：1962 年 4 月 21 日(第 3 土曜日)
  2. 場 所：土木学会会議室
  3. 上映映画：(1) 東洋の旅 1 部 (2) セメント (3) コンクリートを学べる (4) ブロック建築
- 当日講演も予定しておりますので,ふるってご参加下さい。

## 第 1 回トンネル工学に関するシンポジウム開催について

土木学会では本年 2 月よりトンネル工学委員会（委員長 藤井松太郎氏，ほか委員 24 名）を設置し，トンネル工学に関しての問題点を研究して行くことになりました。ついては，この委員会設置第一の行事として，現在問題になっている諸事項につき，下記によりシンポジウムを開催いたしますので奮ってご参加下さるようご案内致します。なおこの種シンポジウムは今後毎年開催する予定でありますことを申添えます。

1. 期 日：1962 年 6 月下旬

2. 場 所：東京

3. 会 費：テキスト代実費程度

4. 申込期限：1962 年 5 月末日

5. 申込方法：次号（4 月号はさみ込みのハガキに会費を添えてお申込み下さい）。

6. 講演者および講演題目（予定）

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 支保工の耐力について         | 国鉄新幹線工事局長 坂本 貞雄氏   |
| 2. 最近のトンネル全断面の掘削方法    | KK熊谷組常務取締役 加納 俊二氏  |
| 3. トンネル事故と施工法との関連について | 労働省産業安全研究所 森 宣制氏   |
| 4. 黒部第 3 の高熱トンネルについて  | 関西電力KK建設部次長 丸山 二郎氏 |
| 5. 名古屋地下鉄工事について       | 名古屋市工事担当者 末 定氏     |
| 6. モンブランのトンネル調査について   | 電源開発 KK土木部 広田 孝一氏  |

7. 見学会：シンポジウムの翌日，国鉄新丹那トンネル工事現場の見学を行なう予定

なお，今回は未確定のままでご案内いたしますが，次号 4 月号には確定したものを登載しますのでご了承下さい。

## 構造物の新しい形式に関する研究発表会論文募集要項 (NEW IDEA IN BRIDGES AND STRUCTURES)

共催：日本学術会議一橋梁・構造工学研究連絡委員会，土木学会，日本学術会議

上記の問題に関する研究発表会を本年 10 月中旬開催いたしますから多数ご応募下さい。

- 原稿枚数：学会誌刷上り 4 ページ以内（400 字詰原稿用紙 24 枚以内・図表・写真をふくむ）
- 原稿締切日：昭和 37 年 6 月末日
- 論文応募に関する問合せ先ならびに原稿送付先：日本学術会議事務局一橋梁構造工学研究連絡委員会（東京都台東区上野公園内電 (821) 3751），土木学会，日本建築学会
- その他：1. 原稿の採否は日本学術会議一橋梁構造工学研究連絡委員会にご一任下さい。  
2. 研究発表会の開催場所および時期は，本年は大阪で 10 月中旬開催の予定です。

## 「シェル構造世界会議」開催について

米国カリフォルニア大学ポポ教授より連絡があり，今秋同地で開催される世界シェル構造会議の周知方と日本の関係者各位の参加勧誘方の要請がありました。

ついては次の要項参照の上御希望の向は東京大学工学部 武藤教授宛御連絡下さい。プレリミナリー アナウンスメントをお送り致します。

### 「シェル構造世界会議」要項

主 催：米国科学学士院・カリフォルニア大学・世界シェル構造学会

1. 会 期：1962 年 10 月 1 日～4 日

2. 会 場：Sheraton-Palace Hotel, Sanfrancisco, U.S.A.

3. 目 的：各国の建築家，技術士，研究者および施工者が集って，シェルの設計，材料，構造学に関する相互の理解と進歩をはかるために，その経験と構想を分つものとする。

4. 論 文：シェル構造の設計，研究，構法および特性に関するもので講演とプロシーディングに適するもので下記の 2 種

- フル論文（40 ページ 口演 30 分以内）
- コンパクト論文（口演 10 分以内）

5. 申込み期限：1. 題目および内容梗概 1962 年 3 月 1 日まで 2. 採用題目の論文提出期限 1962 年 7 月 1 日まで

この論文はプログラムおよび技術委員会で審査の上採否を決定する。

注意：来信が遅れましたので，申込み期限が遅れても受理してもらおうよう交渉することもできるでしょう。

### 37 年度より正員および学生員の会費改正について御知らせ

(昭和 37 年 1 月 16 日・常議員会において決定)

会員各位も十分御承知のとおり最近約 1 年間に諸物価は予想外な急騰を示しており、中でも出版関係経費の 20～30% の値上り、郵便料金の 50～150% の大引改正など、本学会の事業遂行上きわめて甚大な打撃を受けるに至り、現行会費をもってしては、学会事業の根幹である土木学会誌の内容充実はもとより、学会活動に大きな支障をきたすこととなりますので、やむを得ず 37 年度より正員および学生員の会費を下記のとおり改正致すことになりましたので、何卒事情を御賢察の上、学会事業の円滑なる運営に御協力下さいますようお願い致します。

37 年度以降会費

|       | 現 行     | 改 正     |
|-------|---------|---------|
| 正 員   | 1 200 円 | 1 800 円 |
| 学 生 員 | 600 円   | 1 200 円 |

### 安芸皎一氏講演会開催の御知らせ

このたび、安芸皎一博士（国連アジア極東経済委員会水資源局長）がエカフエ総会に出席のため一時帰国されたのを機会に、下記のとおり講演会を開催致します。知友おさそいあわせ御出席下さい。

記

1. 日 時：1962 年 4 月 4 日（水）17.30 より  
 2. 場 所：土木学会会議室  
 付 記：なお講演会終了後、同氏をかこみ懇談会を開催致します（会員 200 円、当日申し受けます）。

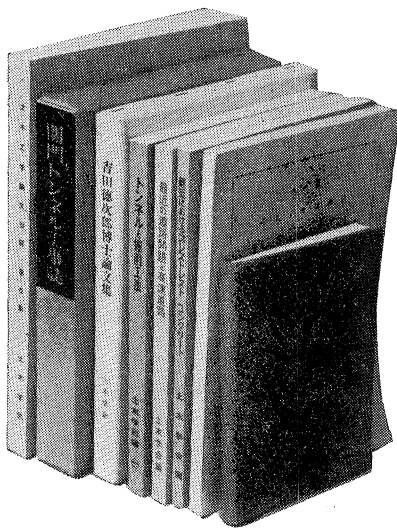
### COASTAL ENGINEERING IN JAPAN 頒布について

海岸工学の研究は現在世界共通の課題であり、国際会議も開かれ、その研究成果は広く世界へ紹介しなければなりません。土木学会では 1958 年より標記の英文図書を刊行し、わが国の海岸工学研究の業績を広く海外へ紹介しております。1961 年版は 11 編の論文よりなり、折込図をはじめ各論文に写真・図表を多数使用しており、わが国の海岸工学研究の現状がわかりやすく編集してありますので、研究者の座右に備えられるようおすすめ致します。

|   |             |          |        |
|---|-------------|----------|--------|
| COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. I (1958)   | B 5 判 147 頁 | 実費 250 円 | (〒 共)  |
| COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. II (1959)  | B 5 判 122 頁 | " 300 円  | ( " )  |
| COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. III (1960) | B 5 判 303 頁 | " 500 円  | ( " )  |
| COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. IV (1961)  | B 5 判 122 頁 | " 700 円  | (〒50円) |

### 新刊図書の頒布について

学会から下記の図書が刊行されました。まだお求めになられない方はぜひこの機会にお求め下さい。あなたの書架を飾るにふさわしい豪華本です。



|  |                        |               |              |             |
|--|------------------------|---------------|--------------|-------------|
| ●昭和 36 年度改訂・土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針     | B 6 判 130 頁<br>クロス装・上製 | 会員特価<br>250 円 | 定 価<br>350 円 | 価<br>〒 50 円 |
| ●最近におけるプレストレストコンクリート設計施工指針の改訂と P C 橋の現況一 | B 5 判 220 頁            | "             | "            | "           |
| ●関門トンネル工事誌（関門トンネル工事誌編さん委員会編）             | B 5 判 800 頁<br>箱入豪華本   | 1500 円        | 2000 円       | 200 円       |
| ●吉田徳次郎博士 論文集（代表的論文 9 編を収録、年表つき）          | B 5 判 280 頁<br>箱入豪華本   | 800 円         | 1100 円       | 120 円       |
| ●第 8 回海岸工学講演会講演集（35 編の最新の研究を収録）          | B 5 判 240 頁            | 800 円         | 1000 円       | 100 円       |
| ●第 5 回地震工学研究発表会講演集（22 編の講演概要を収録）         | B 5 判 66 頁             | 250 円         | 250 円        | 送料とも        |